

生物系研究室セミナー

2016年9月28日(水) 15:30 – 17:30 生態学実験室(理工実験棟7F)

在不在データの解析からみる水生植物相を規定する外部要因



水生植物は多様な水辺環境に生育しますが、例え隣り合った湖沼といえども水生植物相が全く同じになることはありません。本発表では、水生植物と様々な外部要因との関連性を検討することを目的として、在不在データを比較・解析した結果をご紹介します。

黒沢研究室 修士2年 遠藤 優年

コオノオナシカワゲラの生活史と本種の羽化による窒素移行量の推定

魚類も生息できないほどpHが低く、日本有数の酸性河川である酸川にはコオノオナシカワゲラが高密度で生息しています。しかし、本種の生態に関しては現在のところ知見がほとんどありません。本発表では、現時点で明らかになった生活史と、羽化により陸域へ持ち出される窒素量を推定した結果をご紹介します。

塘研究室 修士2年 武田 悠太



福島県裏磐梯地域に生息するフロリダマミズヨコエビの食性解析



フロリダマミズヨコエビは、体長がわずか5-8mmの小さな北米原産の外来生物です。日本中に急激に生息地を拡大していますが、食性に関する知見は不足しています。セミナーではこれまで行ってきた安定同位体比分析による食性解析の結果を皆さんに紹介したいと思います。

塘研究室 修士2年 難波 元生

生物系研究室セミナーは、生物学の教育研究の活性化を目的として、毎月1回程度行っています。共生システム理工学類生物系の5研究室(兼子研, 木村研, 黒沢研, 塘研, 難波研)と人間発達文化学類の1研究室(水澤研)で運営していますが、興味のある方はどなたでも参加できます(特に、6研究室配属希望の1, 2年生歓迎)。

お問い合わせ先; 黒沢高秀 e-mail; kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

今後の予定

10月19日 大平(塘研D3), 齋藤(難波研M2), 山田(難波研M2), 尾本(木村研M2)

11月16日 難波, 塚田(環境放射能研)

12月21日 野田(難波研D1), 志賀(奥田研M1), 後藤(水澤研M1), 當間(塚田研M1)

1月18日 緒勝(塘研D1), 川人(塘研M2), 林(塘研M1), 佐藤(兼子研M1)